



令和8年度 和泊町立内城小学校 学校経営グランドデザイン (案)

学校経営基本方針

【国・県の教育施策】

- ・ 日本国憲法
- ・ 教育基本法
- ・ 学校教育法
- ・ 学習指導要領
- ・ 県教育振興基本計画

【大島地区指導の重点】

- 豊かな心と健やかな体
- 「確かな学力」の定着
- 開かれた信頼される学校づくり

公教育の理念に立ち、教育者としての使命と責任を自覚し、「人権尊重」の精神を基盤に、全職員の英知を集結し、内城小学校の教育を推進する。

- (1) 創立129年の歴史と伝統を尊重し、その充実・発展に努めるとともに、郷土のよさを生かした特色ある学校づくりに努める。
- (2) 「教育の原点は子供」の理念に立ち、人権や人格を尊重し、偏見や差別のない人権尊重の精神を基盤とした教育を推進する。
- (3) よりよく生きる心構えを整える基本的な生活習慣を子供に定着させるとともに、主体的・対話的で深い学びのある授業実践を図る。
- (4) 「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を社会と共有し、連携・協働し、社会の変化に対応した教育の充実を図る。
- (5) 教育課程や週業務の計画的な実施、諸会議等の効率的な運営、効果的なカリキュラム・マネジメントの推進などに努め、教育活動の質の向上を図る。
- (6) 研究と修養に努め、指導力を高め人間性を豊かにするとともに、同僚性を発揮して全校一体となった協働体制を確立する。
- (7) 体験活動等の充実を通して、子供たちの心身を鍛錬し、気力・体力づくりの充実を図る。
- (8) 教育の場にふさわしい美しく整った環境づくりと施設・設備の充実を図り、子供の安心・安全を確保するリスク管理・危機管理の徹底と改善に努める。
- (9) 全職員の学校経営参画の下、「一灯照隅」の貢献意識と「敢為邁往」の実践的態度をもって教育活動を推進する。
- (10) 業務改善への意識・認識の共有化を図り、業務の改善推進を行い、心身の健康に努める。

【和泊町 教育行政の重点課題と施策】

- 1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
 - 道徳教育の充実
 - 生徒指導の充実
 - 人権教育の充実
 - 体力・運動能力の向上
 - 健康教育・安全教育的充実
- 2 社会で自立できる生きる力を育む教育の推進
 - 確かな学力の定着
 - 特別支援教育の充実
 - 幼児教育の充実
 - 社会の変化に対応した教育の推進
- 3 開かれた学校・信頼される学校づくりの推進
 - 学校運営の充実
 - 教職員の資質向上
 - 安心・安全な学校づくり

人権尊重の精神に立った「心に響く教育」

【学校教育目標】	生きぬく力をそなえた内城の子の育成
【校訓】	明るく 強く 正しく 最後まで

目指す学校の姿	目指す子どもの姿	目指す教師の姿
1 美しく、明るく、活力あふれる学校	1 自ら気づき、よく考え実行する子	1 心身ともに健康で、明るく誠実に教育活動に取り組む教師
2 一人一人の可能性を大切に、汗を出し夢を育む学校	2 思慮深く、思いやりのある子	2 研修に励み、確かな指導力を発揮する教師
3 社会と連携・協働し伸びゆく学校	3 明るく素直で、最後までやり抜く子	3 学校運営に貢献する教師

【キャッチフレーズ】	思いやりの心と笑顔のあふれる学校
------------	------------------

教育課題	自ら気づき、よく考え、実行する子	思慮深く、思いやりのある子	明るく素直で、最後までやり抜く子
	知 基礎学力の確実な定着と自ら学ぶ意欲や態度の育成	徳 生命尊重・人権尊重に根ざしたやさしく思いやりのある心の育成	体 体力・運動能力の向上と保健安全指導の充実
解決の具	1 指導力の向上 ・ 児童理解を根拠とした学級経営力の向上 ・ 教材分析・研究を基にした授業構成力 ・ 学びの羅針盤等の活用 2 「内小授業の視点」の実践による学力向上 ・ 主体的な学びにつながる「めあて」 ・ 深い学びにつながる自他との「対話」 ・ 確かな定着を図る「まとめ・振り返り」 3 学業指導の徹底と家庭学習の充実 ・ 中学校と共有の学業指導の活用 ・ 発表話型・ノート指導の徹底 ・ 家庭学習の見届け（家庭でも学校でも） 4 諸検査の分析と分析結果の活用 ・ 単元テスト=できるようになるまで指導 ・ 全職員による諸検査の分析とその活用	1 人権教育の推進 ・ 人権教育に関する研修の確実な実施 ・ 年間指導計画への確かな反映 ・ 人権尊重の精神に基づく学級経営 2 豊かな心の育成 ・ 道徳授業の公開（11月） ・ 年間読書冊数への積極的な働きかけ（低学年150冊、中学年120冊、高学年80冊） ・ 体験、集会活動による思いやりの心の醸成 3 いじめ0、不登校0を目指した取組 ・ いじめ防止基本方針の共通理解・実践 ・ 定期的なアンケートによる実態把握 ・ 心に寄り添う教育相談の実施 4 環境整備の推進 ・ 緑化活動による情操教育の推進 ・ 「あるべき所にあるべき姿で」の実践	1 保健指導・管理の充実 ・ 速やかな出欠状況確認（9時まで） ・ 担任と養教、栄養教諭等による授業実践 ・ 疾病等の治療勧告推進（むし歯治療率100%） 2 安全指導の徹底 ・ 学年に応じたKYT ・ 関係機関と連携した避難訓練等の実施 ・ 学校内外事故発生0 3 体力向上の推進 ・ 汗をかかせる体育指導 ・ チャレンジがごしまへの挑戦100% 4 食育・給食指導の充実 ・ 衛生面や安全面の向上、食事と健康理解

【職員研修テーマ】	「分かった、できた」が実感できる学習者主体の授業の在り方（2年次） ～ 複式・少人数学習のよさを生かした算数科指導を通して ～
-----------	--

家庭・地域との連携	家庭で実践	地域連携
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の定着と毎日の見届け ○ 家庭での読書（親子読書） ○ 親子の会話（学校の出来事、学習） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の定着（あいさつ、整理整頓） ○ 家での役割分担（靴洗、風呂掃除等） ○ 親子のふれあい（家族団らんの時間の確保、一緒に食事）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 三味線や茶道などの地域人材活用 ○ 習い事との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民と相互のあいさつ運動 ○ 子ども会活動等での異年齢交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見守り隊による登下校中の安全確保 ○ 少年団活動等による体力・気力向上
<p>伝統を生かした特色ある教育を一層進める（地域学校協働活動推進委員の積極的・計画的な活用）</p>		